

環境芸術学会 2025年度オンライン大会 タイムテーブル

9:50～10:00	開会の辞(ルーム移動レク、諸注意など)									
	ルーム①					ルーム②				
	時間	発表者	共同研究者	研究題目			発表者	共同研究者	研究題目	
11	10:00～10:20	長谷海平 (関西大学)	矢崎俊志	環境の変化に伴うVR作品の展示再構成:同一作品展示の国内外比較研究		1	佐藤佳奈 (新潟大学大学院)	加藤七菜	地域アートプロジェクトにおける制作とワークショップ運営の実践報告	
12	10:22～10:42	大越円香 (名古屋大学大学院)	秋庭史典	メディアアートの〈記録性〉を問う:展覧会《hyperLOG》のキュレトリアル実践報告		2	津田和輝 (新潟大学大学院)		手の立体造形表現:職人の手と鉄の端材による構成	
13	10:44～11:04	中山夢音 (東京藝術大学大学院)		アーティスト・イン・レジデンスを自身の作品研究の場として:3ヶ国での実践報告		3	五十嵐彩斗 (新潟大学大学院)	三村友子、アイチ金属株式会社	砂と砂鉄を用いた波の表現	
14	11:06～11:26	川島洋一 (福井工業大学)		新しい時間意識と複数の自分		4	三富慧 (新潟大学大学院)	三村友子	「身近な事象の魅力の再発見」をテーマとした立体造形作品の制作:Arduinoによる光制御と、汎用的なフォトグラメトリおよび3Dプリント技術を用いて	
15	11:28～11:48	陳干 (東京藝術大学)		インスタレーション作品『どうしよう!』における情動触発の運動設計:運動再現の正確性から観客知覚に基づく調整へ		5	桐越健祐 (新潟大学大学院)	三村友子、アイチ金属株式会社	砂鉄を用いた背もたれのデザイン研究と椅子の制作	
16	11:50～12:10	越後正志 (神山まるごと高専)	James Jack、Zhai Qiutong、Chan Yi Qian	シロアリたち:小豆島における共生関係の芸術的関与		6	光延咲良 (長岡造形大学)		鍛金技法によるうつわ制作:《むしくい》	
	12:10～13:10	昼休憩								
17	13:10～13:30	東方悠平 (宇都宮大学)		ZINE制作を通じた地域理解学習の実践:八戸・喫茶へばなを題材としたフィールドワーク型授業試行		7	三村友子 (新潟大学)	五十嵐彩斗、桐越健祐、アイチ金属株式会社、若林悦子	河川・海岸における砂鉄の採取及び作品への展開	
18	13:32～13:52	藤沢礼央 (札幌市立大学)		制度と子どもに挟まれた持続的リミナル空間の考察:苫小牧市美術博物館子ども広報部びとこまの事例		8	宮本一行 (札幌大谷大学)		Virtual Soundwalk Mikata:XR体験から生まれる音環境への新たな気づき	
19	13:54～14:14	下山肇 (実践女子大学)	轟颯馬、駒山真美	AR(拡張現実)アートのSTEAM教育における活用について:一高校美術Iから総合的な探究の時間・地域エンゲージメントへ		9	大森正夫 (京都芸術大学)		清水寺の絶景に潜むダイナミックプロポーション:京都の空間表現手法に関する研究(1)	
20	14:16～14:36	岡薫 (東京農工大学)		アートプロジェクトから地域社会の内発的発展を問い直す		10	田中ゆり (京都市立芸術大学)		日本の美意識と素粒子物理の交わり:一学際協働による対話と体験のデザインを通じて	
	14:40～15:00	閉会の辞:「学生優秀プレゼンテーション賞」発表								

学生部門発表者  
一般会員発表者